



重要な製品情報：必ずお読み下さい



CoolRunner™ XPLA3 CPLD のエラッタ

DS012-E10 (v1.0) 2004 年 5 月 21 日

エラッタのお知らせ



これらのエラッタは CoolRunner™ XPLA3 CPLD デバイスのみに該当するものであり、その他の CPLD デバイスには全く影響はありません。

この度は、弊社の CoolRunner™ XPLA3 CPLD デバイスをご注文いただき誠にありがとうございます。弊社では、このデバイスの品質において万全を期しておりますが、このデバイスに該当のエラッタが確認されましたのでお知らせ致します。ご注文頂きましたデバイスがご使用のアプリケーションの必要条件を満たしているかにつきましては、エラッタにてご確認いただけますようお願い致します。

最新のエラッタについて

このエラッタの内容は、最新の確認事項に基づいて常に更新されます。印刷された文書、またはお手元のコンピュータ保存文書としてご覧になる場合は、最新版であることを確認して下さい。最新版を入手される際は、[mysupport](#) よりユーザー登録が必要となります。

また、このエラッタに記載されている内容は、CoolRunner XPLA3 ファミリ データシートのバージョン 1.8 に対応するものです。

該当デバイス

今回のエラッタに該当するデバイスは、次の表 1 および表 2 に示す CoolRunner XPLA3 CPLD (XCR3xxxXL) のみです。

表 1. XCR3xxxXL CPLD デバイス

デバイス タイプ	XCR3032XL XCR3128XL XCR3256XL XCR3384XL XCR3512XL
パッケージ	すべて
スピードグレード	すべて
リビジョン	リビジョン A および B

表 2. XCR3064XL CPLD デバイス

デバイス タイプ	XCR3064XL
パッケージ	すべて
スピードグレード	すべて
リビジョン	リビジョン A、B、および C

該当デバイスの確認方法

このエラッタは、デバイス タイプに「XCRxxxXL」と記されたすべての CPLD デバイスが対象となります (図 1 参照)。

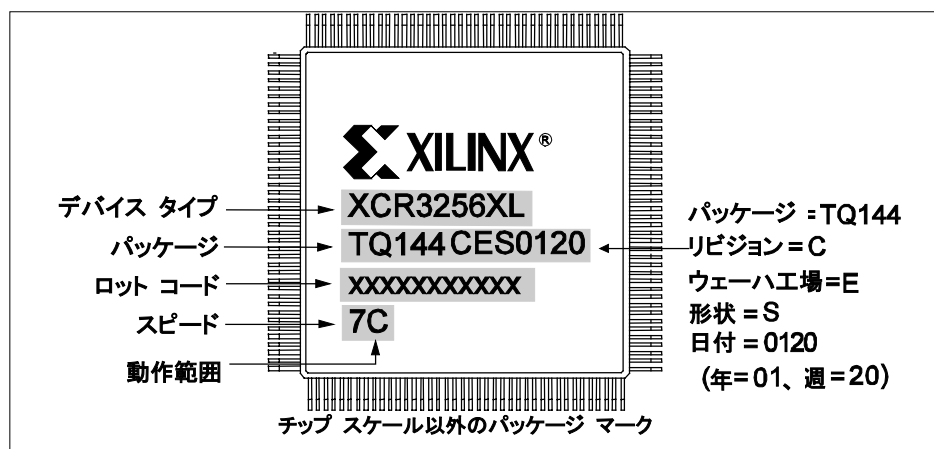


図 1. XCR3xxxXL パッケージ マーク例

概要

このエラッタの対象となっている CoolRunner XPLA3 CPLD を使用したデザインでは、次のような特定の電源状態によって初期化が適切に行われないう可能性があります。電源投入時の初期化を適切に完了後、電源を切るために V_{CCINT} を落とす場合、完全に 0V にならず 0.6V 付近で止まります。その後、 V_{CCINT} は 0V に戻ることなく、再び 3.3V まで立ち上がります。このような電源シーケンスが発生する場合、適切にコンフィギュレーションを実行できない可能性があります。基本的に、パワーダウン中に放出されずにデバイス内に残っている電荷が原因となり、低電圧の V_{CCINT} に対して問題が発生していることが原因となっています。

推奨回避策

問題となっている動作の発生を回避するためには、次の方法があります。

- V_{CCINT} の電圧を 0V まで下げることによって、この問題を回避できます。尚、電圧が 0.25V 未満であれば、問題は発生しません。
- 初期化後の V_{CCINT} を 0.9V を越える電圧に維持します。電圧が 0.25V から 0.9V の範囲に低下しないようにして下さい。

お問い合わせ先

このエラッタに関しましてご質問などございましたら、弊社のテクニカル サポートまたは販売代理店までお問い合わせ下さいませよう願ひ致します。お問い合わせ先につきましては www.xilinx.co.jp/support/services/contact_info.htm をご覧下さい。

最後に

CoolRunner XPLA3 CPLD では特定の電源状態によって、初期化が適切に実行されない可能性があります。この問題に対する2つの回避策を上述しました。現在、この問題を解決するためにデバイスを修正しています。

改訂履歴

日付	バージョン	変更内容
2004/5/21	1.0	初版リリース

この通知は、英語版資料 (DS012-E10、バージョン 1.0、2004 年 5 月 21 日発行) を翻訳したものです。